

H25 年の春季ハタハタ分布調査結果

試験船青鵬丸(65 トン)によるオッタートロール海底曳によって、本県沖合におけるハタハタの分布状況を調査しましたので結果をお知らせします。

調査は平成 25 年 4 月～7 月の毎月 1 回、出来島沖、高山沖、十三沖の水深 100m、120m、200m、250m、300m を定点とし、1 点あたり 30 分操業しました。調査点ごとの分布密度(尾/1,000 m²)は図 1 のとおりで、平成 25 年 5 月には 1 歳魚、6 月には 0 歳魚が比較的高い密度で分布していました。水深別平均分布密度の最高値を年別に比較すると、平成 25 年は 0 歳魚で平成 24 年を上回り、1 歳魚でも平成 24 年に次いで 2 番目の高さでした(図 2)。

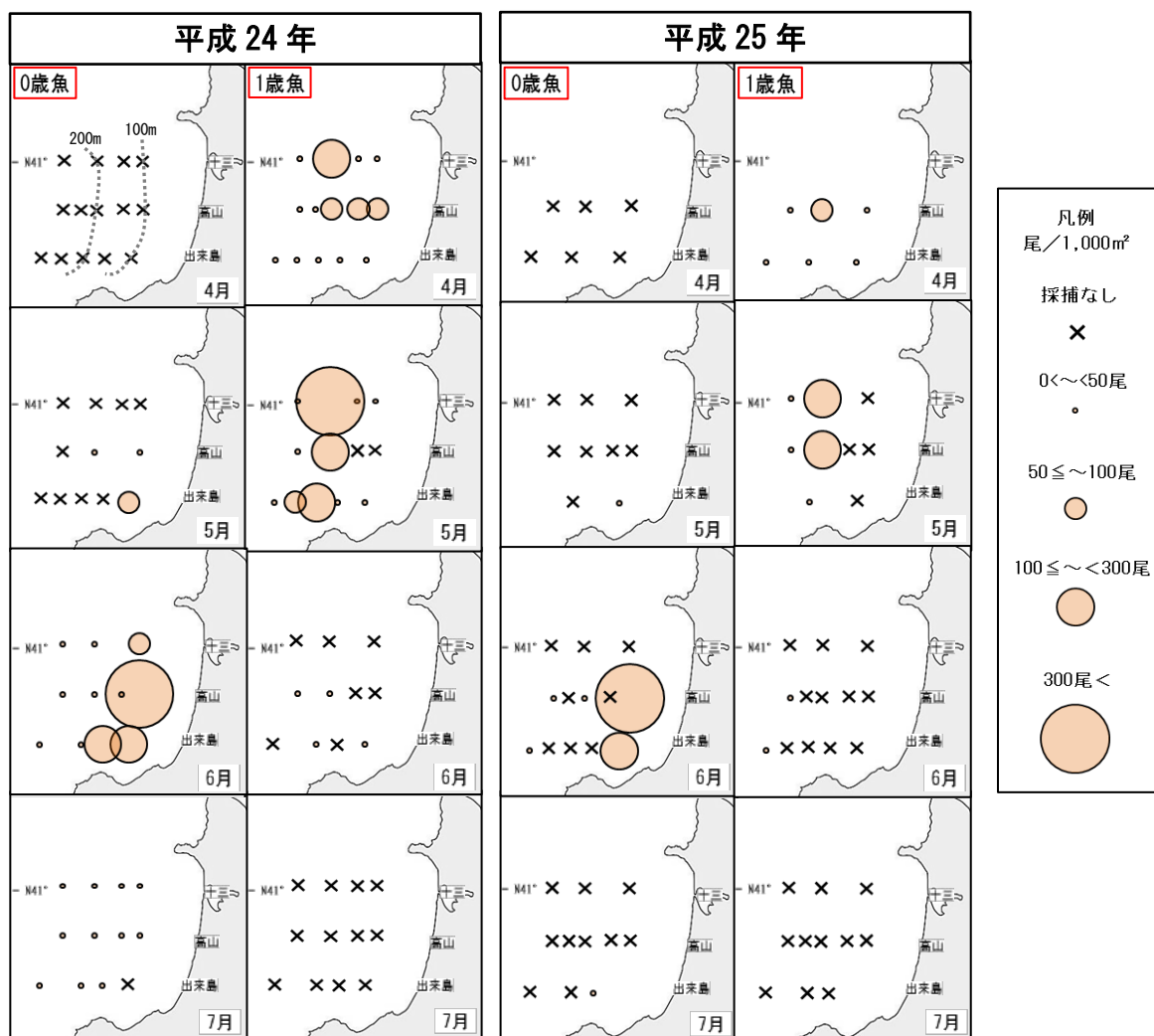


図 1 オッタートロール海底曳によるハタハタ分布密度マップ

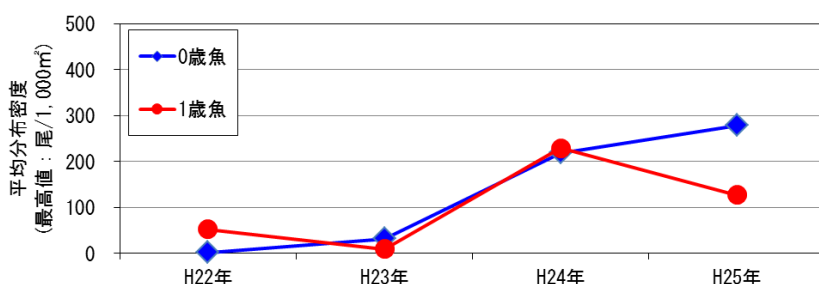


図 2 ハタハタ分布密度の年変化